

3年間、本当にありがとうございました！

そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



～安平町復興ボランティアセンターよりメッセージ～

「活動期間は3年」ボランティアとして期限を定め、安平町が元気を取り戻せるよう活動してきました。自分達の活動は住民に寄り添っているのか、復興に寄与しているのか、そんな葛藤を抱きながら目の前のことに取り組んできました。もっとできたのではないかという思いは今もあります。至らない部分も多々あったと思います。

しかし、限られた人数と時間、そしてコロナ禍の状況ではこれが精一杯でした。それでもこうして活動できたのは町民の皆さまのご理解ご協力のおかげです。「応援してるよ」「頑張ってるね」その一言が何よりの力になりました。「自分達のマチは自分達がつくる」その気概と期待を感じ、皆さんと歩んだ3年間だったと思います。

ご支援ご協力、本当にありがとうございました。



復興ボランティアセンター長
井内 聖



副センター長
林 賢司
(ENTRANCE 事務局長)

4月から井内さんに代わって、事務局長という大役を仰せつかることになりました。「ピンチをチャンスに！」の合言葉のもと、復興ボラセンでは様々な活動を行ってきましたが、その集大成として立ち上がったのがENTRANCEです。僕たちは様々な人が集まり、想いが語られ、そして新たな挑戦が生まれることが、安平町をより発展させると考え、この場を創ってきました。今では多くの町民の方に利用していただけるようになり、大変嬉しく思っています。復興ボラセンの名前は無くなりますが、当初の想いは変わらず引き継いでいきます。町民の皆様にはここまで本当にお世話になりました。そしてこれからもENTRANCEをよろしくお願いします。

僕は最初は災害ボランティアとして安平町に入り、縁あって復興ボラセンの一員に加わらせていただき、町の復旧、復興へのあゆみとともに進ませていただきました。

復興ボラセンでは広報部長として2年半もの間、この「未来へつなぐ」を書かせていただいたり、あびらチャンネルに出演させていただいたり本当に光栄でした！

今後はENTRANCE施設長として安平町の未来を創っていく一役を担ってまいります。

皆様にENTRANCEでお会いできることを心から楽しみにしています！本当にありがとうございました！そして、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。安平町に移住して良かったです！世界一大好きな町になりました！！



広報部長
台 正人
(ENTRANCE 施設長)



理事長
西村 次郎
(ENTRANCE 理事長)

まず初めに、この3年間、町民の方はもちろん、道内外、大勢の皆さんに支えられここまで活動することができました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。また、ここまで大きな怪我なく、活動してくてくれたメンバーのみんなにも本当に感謝しています。今後（一社）ENTRANCEとして活動していくにあたって、これからも町民に寄り添い、信頼され、町民とともに進んでいく団体、場所になっていって欲しいと思っています。何か困ったことや気になったことがあれば、お気軽にENTRANCEにお越しく下さい。改めまして3年間本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（一社）安平町復興ボランティアセンター は 2021年4月1日より （一社）ENTRANCE へと名称を変更し、「安平町の未来を創る団体」へと生まれ変わります。



（一社）安平町復興ボランティアセンター
TEL：070-3139-0374
MAIL：abira.fukkouborasan@gmail.com

記事提供
編集・校正

安平町復興ボランティアセンター
安平町役場総務課情報グループ